

# 3学年だより

仙台市立第一中学校  
第31号

令和4年12月23日(金)

## 明日から17日間の冬休みに入ります！

光陰矢のごとし。あっという間に冬休み。あれよあれよという間に卒業式を迎えてしまいそうなくらいに、一日一日の経過が速く感じられています。

中学校で勉強するのもあと50日ぐらいとなりました。この冬休みは、スケジュール管理や健康管理をきちんと行って、自分の計画に従って頑張してほしいと思います。冬休みを含めてここ1ヶ月が正念場です。自分に負けず、やるべきことから逃げず、自分を信じて努力してほしいと思います。

また、自分自身を見つめ、直さなければならないことはきちんと直し、しっかりと生活してほしいと思います。自分の未来を切り開くのは自分でしかありませんから、勉強面でも生活面でも、どれだけ頑張れる自分であるのか、自分に挑戦する気持ちで取り組んでほしいと思います。

クリスマスやお正月などの楽しい行事もありますが、つい遊びほうけると後悔します。17日間の学習計画を計画どおりにやることのできたら自信がつかます。計画を立てることは簡単でも、実行することは難しいのです。勉強したことが定着しているかどうかを1月10日の実力考査で試してみましょう。

本日、全校集会で学年を代表して5組のS・Tさんが、「冬休み前までを振り返って」と題して作文を発表しました。ぜひ一読ください。

### 冬休み前までを振り返って

3年5組 S・T

中学三年の冬。二〇二二年がもうすぐ終わろうとしているこの時期は、今まさに勉強と向き合っている時期です。私は六月の中総体で部活を引退した今年の夏から今までの約半年間、受験という大きな目標に向かって生活してきました。しかし、この半年間は人生で一番悩み、苦しい思いをした時間でもありました。

中学三年の夏休みは「勝負の夏休み」とも言われて、今まで習ってきたことをゆっくりと復習できる最後のチャンス。「この夏を制した人が受験を制す」という言葉で表されるように、今まで過ごしてきた夏休みとは全くちがひ、受験というプレッシャーが心の中にずっとあり、理想の夏休みとは程遠い日々を送っていました。思うように勉強が進まないあせりから自分への自信をどんどん失っていき、いつからか自分で自分を責めて人と接することすら怖いと感じるようにもなりました。そのような時に「自分に自信を持って生きたい」、「中学校生活を後悔なく充実したものにしたい」という心の中で芽生えた感情から二学期の学級委員に立候補しました。

二学期からクラスを引っ張っていく立場となり、自らを厳しい環境に置いて様々な面で成長しようと決意しました。しかし、人見知りで自分から話しかけることもなく、常に周囲の目を気にして、自分らしさを存分に出すことは未だにありません。そのような中でもクラスの友達、自分に優しくしてくれたり、話しかけてくれたりと人と接することを避けていた私は、心から友達の大切さに中学校三年生で気付きました。

今は少しずつではありますが心強くして、受験という大きな壁を乗り越えようとしています。クラス内の雰囲気も落ち着かなくなってきた、自分だけでなく周りの全ての人不安を感じていると思います。私は三年生全員でこの壁を乗り越えて三月、笑顔になっているようにしたいです。そのために卒業までの残り数か月、メリハリをつけて勉強と中学校の思い出どちらも充実させて、力強く一歩ずつ前に進んでいきたいです。

今年も学校・学年の教育活動に対する御理解と御協力、大変有り難うございました。年が明ければ、いよいよ中学校生活の集大成を迎えます。これまで同様、生徒たち、保護者の皆さま、そして学校スタッフ一丸となって突き進みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

**1月10日(火) いつもの元気な笑顔とあいさつを楽しみにしています。**